

第6次貝塚市総合計画の全体像

＜序章 はじめに＞

策定の目的

- 将来にわたり持続可能なまちを目指すためには、市民の誰もが暮らしの中で幸せを実感できるまちづくりを進めることが必要。
- これからの時代に対応しながら、市民と行政がともに進めることができる新たなまちづくりの指針として、第6次貝塚市総合計画を策定する。

計画の構成と期間

○「基本構想」「基本計画」により構成し、人口減少対策などに特化した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の内容を包含したものととして策定します。

R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19
2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037

基本構想（12年）



必要となるまちづくりの方向性とキーワード

- 社会の動向、貝塚市の現状を踏まえ、第6次計画で必要となるまちづくりの方向性を整理します。
- ① 貝塚市の未来を担う人づくり(こどもまんなか社会、ウェルビーイング)
 - ② 健康で安心して暮らせる地域づくり(健康寿命延伸、誰一人取り残さない社会)
 - ③ 多様性を認め合う共生社会づくり(多文化共生、人生100年時代)
 - ④ 産業・観光・文化の振興による活力づくり(産業・雇用の国際化、インバウンド)
 - ⑤ 暮らしやすい魅力的なまちづくり(空き家対策、みんなで支える公共交通)
 - ⑥ 持続可能なまちとなるための仕組みづくり(防災・減災 GX)
 - ⑦ 効果的・安定的な行財政運営体制づくり(DX・公共施設マネジメント)

＜基本構想＞

○まちづくりの基本的な目標や枠組みを示すもので、本市の将来像や分野ごとのまちづくりの目標を定めます。

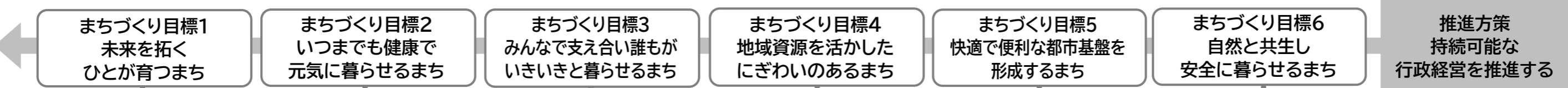
めざすまちの将来像（検討中）



※まちづくりを進めるうえで市民と行政が共有できる到達点のイメージ

将来人口の見通し
人口の見通し
2037年:7.3万人以上

まちづくり目標（検討中）



＜基本計画＞

各施策の中で人口減少対策に特化した取組を総合戦略事業として位置づけ

＜総合戦略＞

